

2018年3月期 決算説明会

OCHIホールディングス株式会社



2018年6月6日

会社概要

会社概要

代表者	越智 通広
本社所在地	福岡市中央区那の津三丁目12番20号
設立	2010年10月1日
資本金	4 億円
発行済株式総数	13,610,970 株
業種別分類	卸売業
証券コード	3 1 6 6 (東証 1 部・福証)
銘柄略称	OCHI・HD
売買単位	1 0 0 株
グループ従業員数	1,087名(2018年3月31日現在)

沿 革

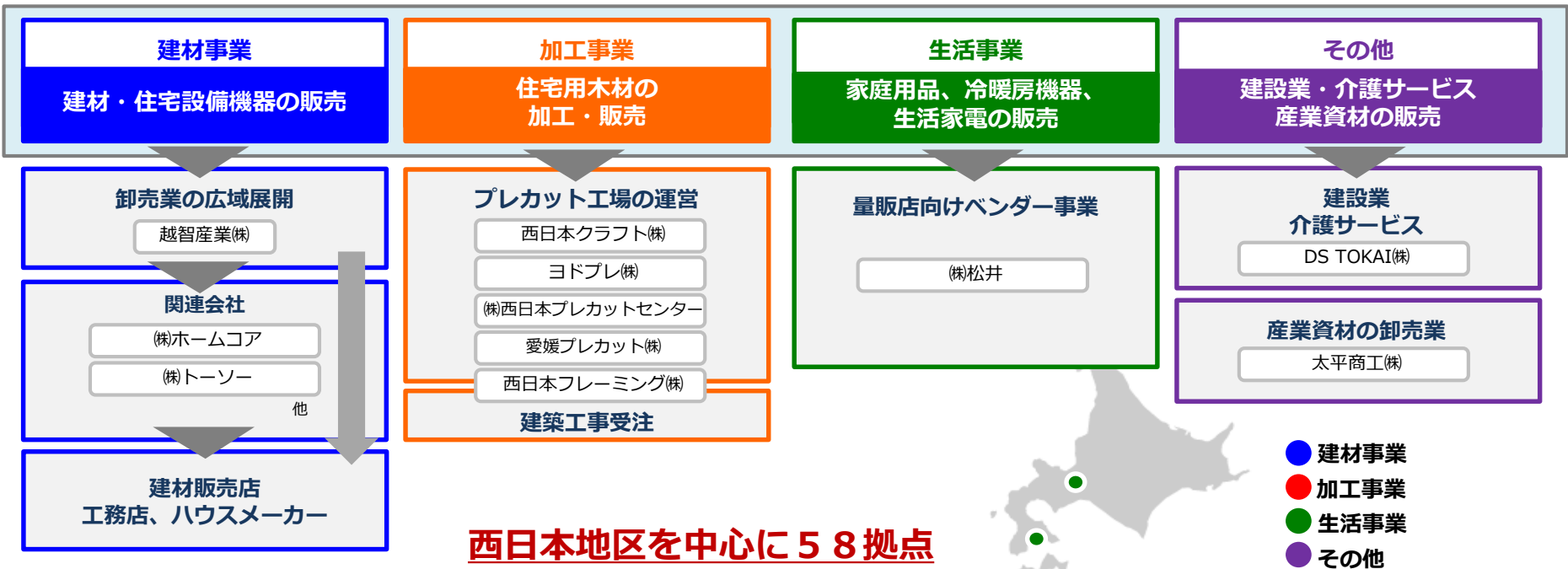
1955年 5月	木材および合板等の建築材料の販売を目的として、福岡市で越智商店を創業
1958年10月	(株)越智商店設立
1970年 6月	越智産業(株)に商号変更
1996年 2月	福岡証券取引所に上場
2008年 8月	北海道の(株)松井を子会社化し、生活事業へ進出
2010年10月	越智産業(株)の株式移転によりOCHIホールディングス(株)設立、持株会社体制へ移行、福岡証券取引所に上場
2013年11月	東証2部上場
2014年11月	東証1部へ市場変更
2014年12月	DS TOKAI(株)を子会社化し、中京圏での建設事業、介護サービス事業へ進出
2016年10月	太平商工(株)を子会社化し、産業資材の販売へ進出

住宅資材卸売ランキング

2018年3月期連結

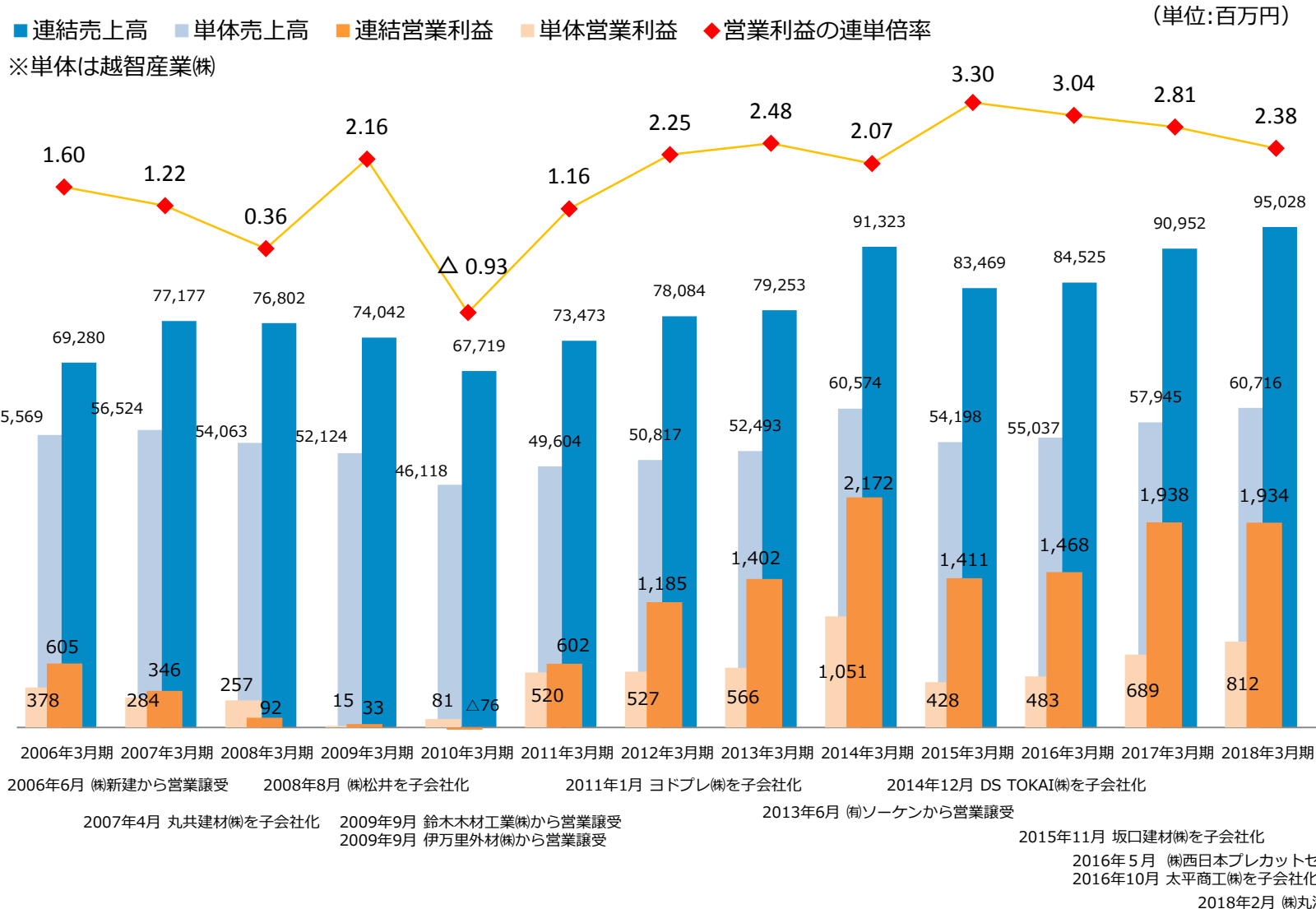
(単位:百万円)

順位	会社名	売上高	営業利益	営業利益率	ROE
1	J Kホールディングス(株)	346,137	5,003	1.4%	7.8%
2	すてきナイスグループ(株)	239,536	675	0.3%	0.7%
3	ジューテックホールディングス(株)	156,534	1,230	0.8%	9.6%
4	OCHIホールディングス(株)	95,028	1,934	2.0%	10.3%
5	(株)クワザワ	90,372	905	1.0%	4.9%



M & Aで子会社化した企業を確実に収益化することで、連結業績の拡大に成功

2018年3月期は越智産業(株)の業績が相対的に好調で、連単倍率はやや低下



2018年3月期 決算概況

売上高は過去最高となるも、物流費や人件費の増加で利益面は微減

売上高

95,028百万円
計画比 102.2%

- 2017年度の新設住宅着工戸数は、年度末にかけて弱含み、前期比2.8%減
- 建材、生活、その他の各事業で、売上高の予算を達成
- 加工は、予算未達ながら前期並みを確保
- 2016年10月に子会社化した太平商工(株)の寄与（17/3期6ヶ月→18/3期1年）および2018年2月に子会社化した(株)丸滝の寄与（18/3期2ヶ月累計）は、合計で20億円（17/3期売上高の2.2%相当）

営業利益

1,934百万円
計画比 101.8%

- 建材、生活、その他の各事業で、営業利益の予算を達成
- 加工は、前期並みの売上高に対して、物流費や労務費の増加、一部資材の価格上昇などで、予算未達
- 太平商工(株)および(株)丸滝の寄与は、合計で29百万円（17/3期営業利益の1.5%相当）

親会社株主に帰属する当期純利益

1,361百万円
計画比 102.4%

- 予算達成するも前期比では微減
- 出資金清算益など、特別利益102百万円を計上

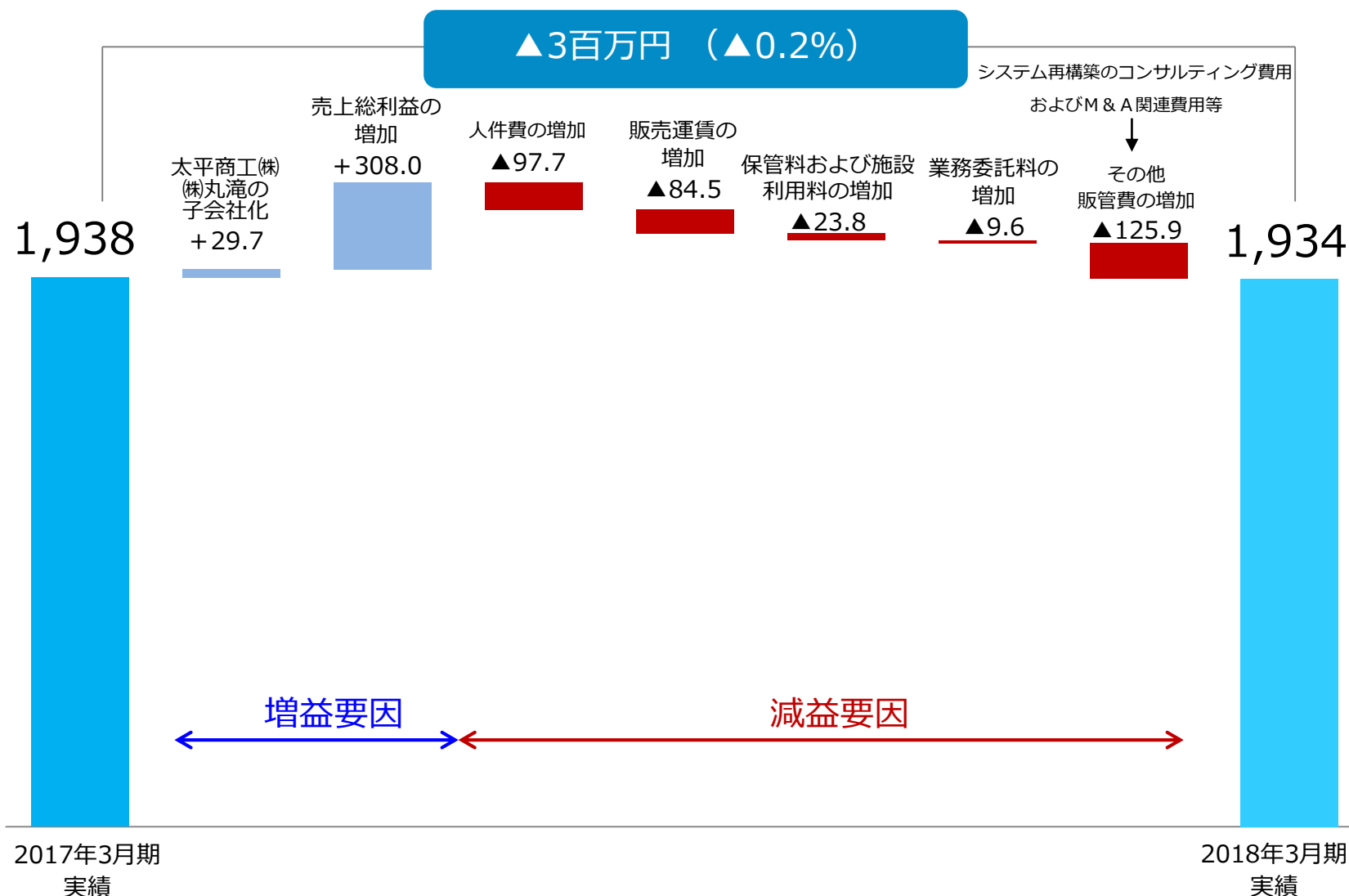
単位:百万円、()内は構成比

	2017年3月期	2018年3月期					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	90,952 (100.0%)	95,028 (100.0%)	4,075	104.5%	93,000 (100.0%)	2,028	102.2%
売上総利益	10,770 (11.8%)	11,389 (12.0%)	619	105.8%	11,134 (12.0%)	255	102.3%
販売管理費	8,831 (9.7%)	9,455 (10.0%)	623	107.1%	9,234 (9.9%)	221	102.4%
営業利益	1,938 (2.1%)	1,934 (2.0%)	▲3	99.8%	1,900 (2.0%)	34	101.8%
経常利益	2,090 (2.3%)	2,065 (2.2%)	▲24	98.8%	2,020 (2.2%)	45	102.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,380 (1.5%)	1,361 (1.4%)	▲18	98.7%	1,330 (1.4%)	31	102.4%

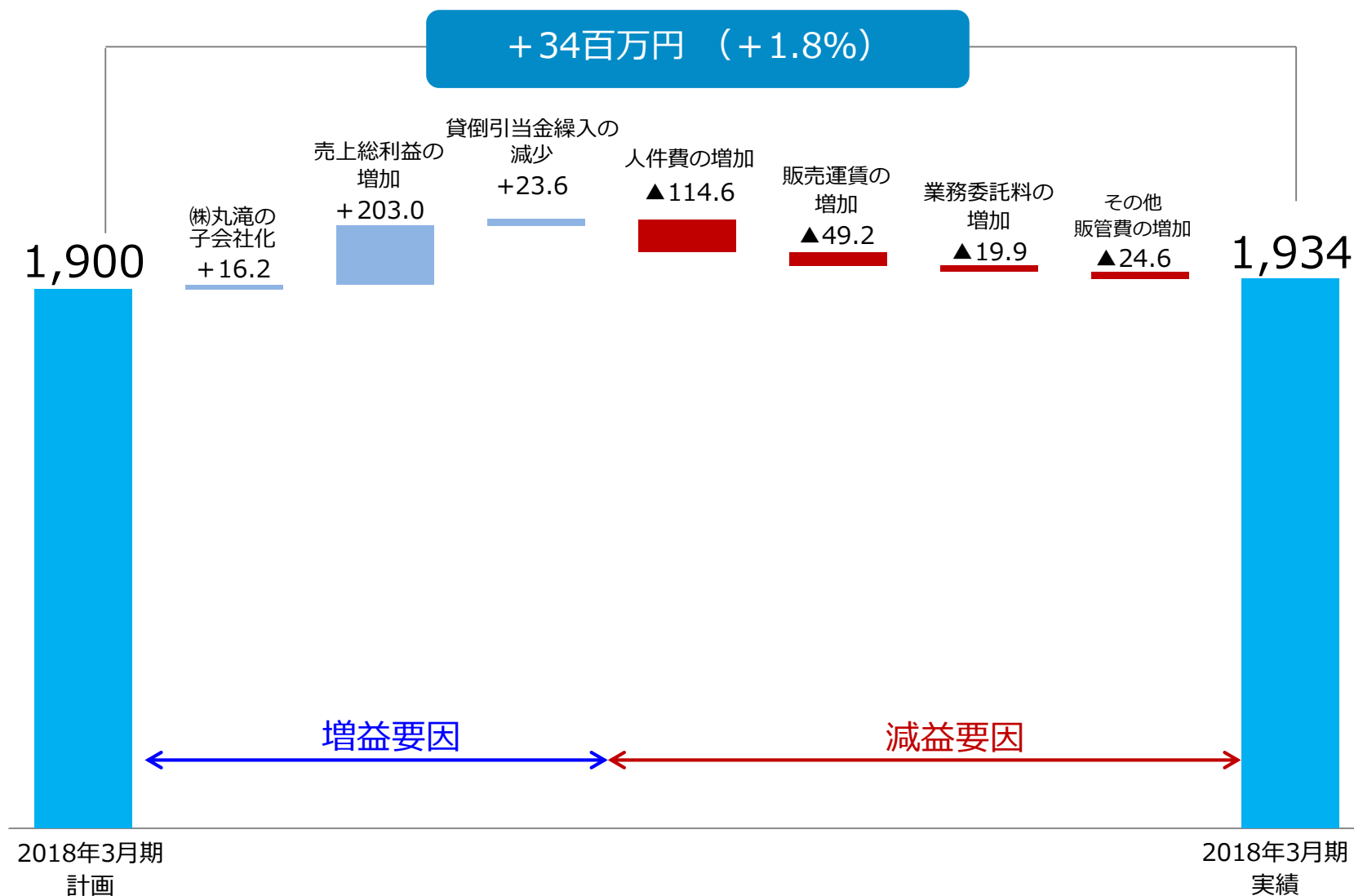
主な特別利益／損失

		2017年3月期	2018年3月期	備考
	投資有価証券売却益	54	0	
	出資金清算益	—	84	出資組合の解散に伴う残余財産の分配
特別利益合計		55	102	
	災害による損失	16	—	
	減損損失	1	35	賃貸用不動産の減損23、建物減失11
特別損失合計		24	43	

(単位:百万円)



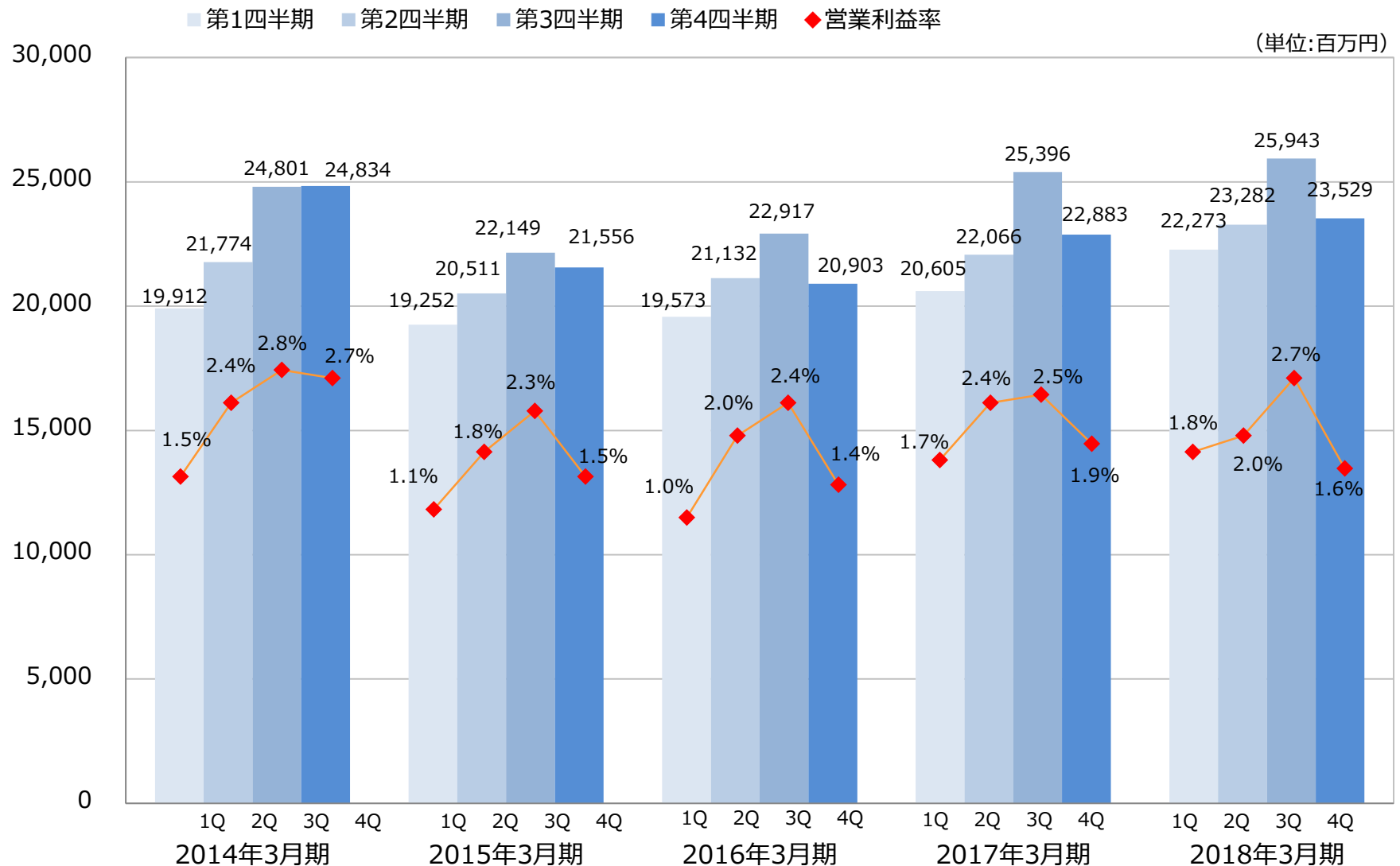
(単位:百万円)

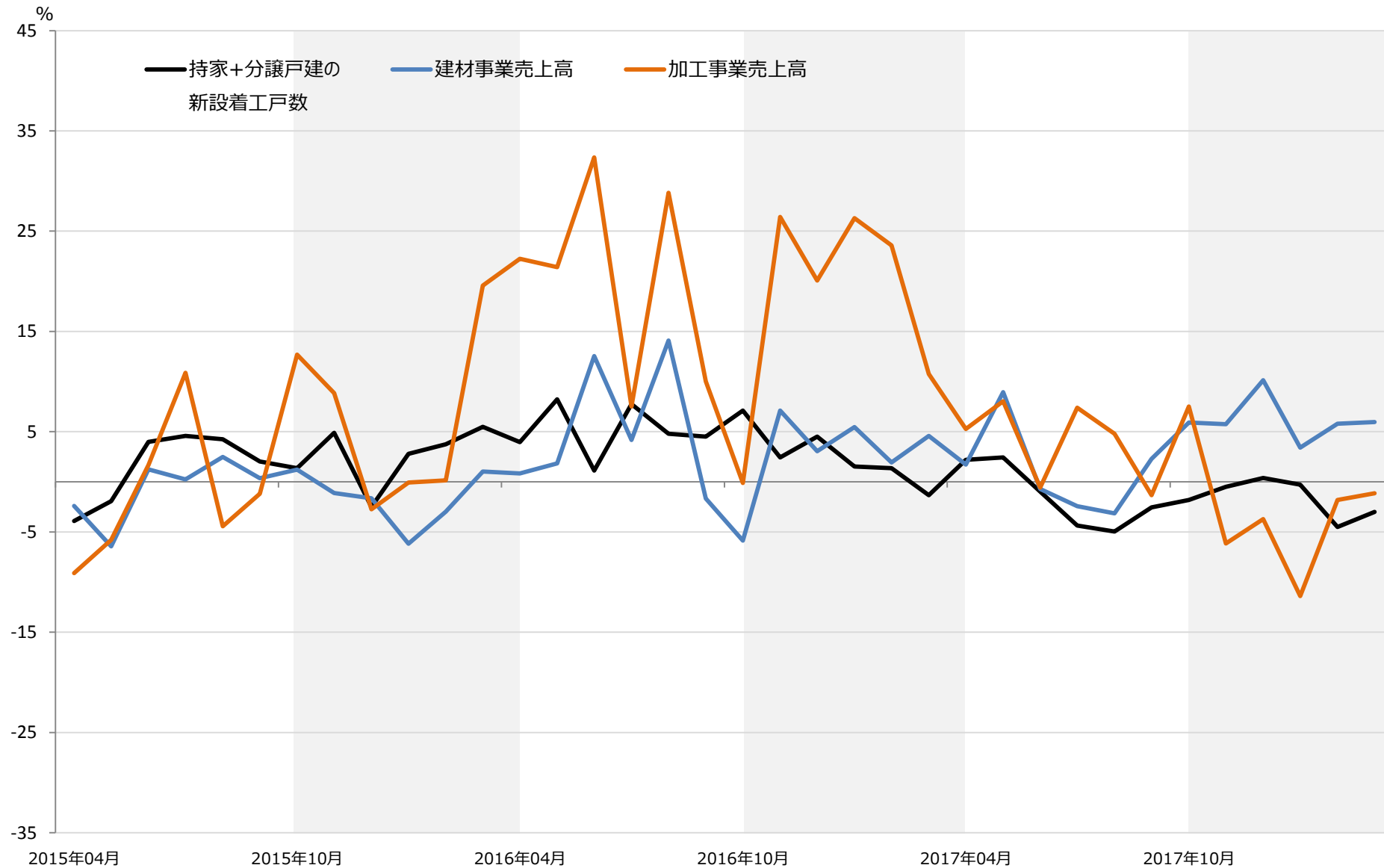


四半期売上高の推移



OCHIホールディングス株式会社





セグメント別の損益



OCHIホールディングス株式会社

単位:百万円、()内は構成比
< >は各セグメントの営業利益率

	2017年3月期	2018年3月期					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	90,952 (100.0%)	95,028 (100.0%)	4,075	104.5%	93,000 (100.0%)	2,028	102.2%
建材事業	67,287 (74.0%)	69,725 (73.4%)	2,438	103.6%	67,936 (73.0%)	1,789	102.6%
加工事業	13,094 (14.4%)	13,131 (13.8%)	37	100.3%	13,294 (14.3%)	▲162	98.8%
生活事業	6,820 (7.5%)	7,319 (7.7%)	498	107.3%	6,920 (7.4%)	398	105.8%
その他	4,201 (4.6%)	5,288 (5.6%)	1,086	125.9%	5,212 (5.6%)	75	101.4%
部門間調整	▲451	▲436	14	—	▲364	▲72	—
営業利益	1,938 (2.1%)	1,934 (2.0%)	▲3	99.8%	1,900 (2.0%)	34	101.8%
建材事業	1,528 <2.3%>	1,507 <2.2%>	▲20	98.7%	1,449 <2.1%>	58	104.0%
加工事業	722 <5.5%>	632 <4.8%>	▲90	87.5%	779 <5.9%>	▲147	81.1%
生活事業	56 <0.8%>	85 <1.2%>	28	149.4%	77 <1.1%>	7	109.9%
その他	72 <1.7%>	198 <3.8%>	125	272.3%	106 <2.0%>	92	186.2%
部門間調整	▲442	▲489	▲47	—	▲513	23	—

単位:百万円、()内は構成比

	2017年3月期	2018年3月期					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	67,287	69,725	2,438	103.6%	67,936	1,789	102.6%
売上総利益	7,103 (10.6%)	7,323 (10.5%)	219	103.1%	7,025 (10.3%)	298	104.2%
営業利益	1,528 (2.3%)	1,507 (2.2%)	▲20	98.7%	1,449 (2.1%)	58	104.0%

- 新築、リフォーム、非住宅分野で積極的な営業を展開するとともに、2017年4月に工事店会を組成し工事力強化に努め、セグメントとしては増収減益
- 売上高については、最大地盤の九州地区を中心に好調に推移し、予算達成
- 営業利益については、物流費、人件費などの販管費が増加し、加えて、M & A 関連費用56百万円が販管費として計上されたものの、予算達成
- 2018年2月に子会社化した(株)丸滝の寄与分（2ヶ月）は、売上高2億円、営業利益16百万円

単位:百万円、()内は構成比

	2017年3月期	2018年3月期					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	13,094	13,131	37	100.3%	13,294	▲162	98.8%
売上総利益	2,367 (18.1%)	2,300 (17.5%)	▲67	97.1%	2,446 (18.4%)	▲146	94.0%
営業利益	722 (5.5%)	632 (4.8%)	▲90	87.5%	779 (5.9%)	▲147	81.1%

- 主力の戸建住宅に加えて、木造非住宅物件や賃貸住宅の受注を推進するとともに、住宅の完成まで請負う工事の受注にも注力し、セグメントとしては増収減益
- 売上高については、関西地区で年末からやや伸び悩んだものの、九州地区は期を通して堅調に推移し、予算未達ながら前期並みを確保
- 売上総利益および営業利益については、労務費、物流費が増加したこと、一部の資材価格の値上がりを販売価格に転嫁できなかったことなどから、予算未達

単位:百万円、()内は構成比

	2017年3月期	2018年3月期					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	6,820	7,319	498	107.3%	6,920	398	105.8%
売上総利益	914 (13.4%)	983 (13.4%)	69	107.6%	970 (14.0%)	13	101.3%
営業利益	56 (0.8%)	85 (1.2%)	28	149.4%	77 (1.1%)	7	109.9%

- 季節家電の販売が大幅に伸びたことに加え、家庭用品、住設機器、DIYなどの販売も好調に推移し、セグメントとしては増収増益
- 2017年9月、(株)松井の旭川営業所を同本社に統合

単位:百万円、()内は構成比

	2017年3月期	2018年3月期					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	4,201	5,288	1,086	125.9%	5,212	75	101.4%
売上総利益	383 (9.1%)	783 (14.8%)	400	204.3%	687 (13.2%)	96	114.0%
営業利益	72 (1.7%)	198 (3.8%)	125	272.3%	106 (2.0%)	92	186.2%

- 建設業で採算重視の受注を徹底し、収益が改善
- 2016年10月に子会社化した太平商工(株)の寄与分（17/3期6ヶ月→18/3期1年）は、売上高17億円、営業利益13百万円

貸借対照表



OCHIホールディングス株式会社

(単位:百万円)

		2017年3月期	2018年3月期	
				増減
	現金及び預金	6,728	7,312	584
	売上債権	19,856	20,063	207
	商品	2,546	2,720	173
	未成工事支出金	746	859	112
	その他流動資産	673	672	▲1
	貸倒引当金	▲19	▲19	▲0
流動資産		30,532	31,607	1,075
	有形固定資産	9,834	9,854	19
	無形固定資産	353	277	▲75
	投資その他の資産	5,265	5,843	578
固定資産		15,452	15,975	522
資産合計		45,984	47,583	1,598

		2017年3月期	2018年3月期	
				増減
	仕入債務	25,116	26,039	922
	短期借入金・一年内社債	1,990	2,093	103
	その他流動負債	2,096	2,205	108
	長期借入金・社債	2,461	1,734	▲727
	退職給付に係る負債	132	149	17
	その他固定負債	1,452	1,583	131
負債		33,249	33,806	556
	株主資本	12,261	13,164	902
	その他の包括利益累計額	442	583	141
	非支配株主持分	31	29	▲2
純資産		12,735	13,777	1,041
負債純資産合計		45,984	47,583	1,598

自己資本比率	27.6%	28.9%	+1.3%
--------	-------	-------	-------

(単位:百万円)

		2017年3月期	2018年3月期	主な要因
	営業活動によるキャッシュ・フロー	2,700	2,321	税引前当期純利益 + 2,124 仕入債務の増加額 + 666
	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲338	▲252	有形固定資産の取得による支出▲364
フリー・キャッシュ・フロー		2,362	2,068	
財務活動によるキャッシュ・フロー		▲1,017	▲1,531	長期借入金の返済による支出▲805
現金及び現金同等物の増減額		1,345	536	
現金及び現金同等物の期首残高		5,286	6,631	
現金及び現金同等物の期末残高		6,631	7,168	

2019年3月期 業績予想と取り組み

2019年10月予定の消費税増税をにらんだ駆け込み需要も見込まれ
持家・分譲戸建住宅の着工戸数は比較的高い水準での推移を予想

単位:百万円、()内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期		
		中期経営計画	連結業績予想	前期比
売上高	95,028 (100.0%)	100,000 (100.0%)	101,500 (100.0%)	106.8%
売上総利益	11,389 (12.0%)	—	12,496 (12.3%)	109.7%
販売管理費	9,455 (10.0%)	—	10,266 (10.1%)	108.6%
営業利益	1,934 (2.0%)	2,200 (2.2%)	2,230 (2.2%)	115.3%
経常利益	2,065 (2.2%)	2,300 (2.3%)	2,380 (2.3%)	115.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,361 (1.4%)	1,550 (1.6%)	1,550 (1.5%)	113.8%
R O E	10.3%	10.7%	10.8%	—

※19/3期業績予想に対する(株)丸瀧、(株)タケモク、愛媛プレカット(株)の寄与 売上高38億円 営業利益85百万円

建材事業

単位:百万円、()内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	
		計画	前期比
売上高	69,725	73,300	105.1%
売上総利益	7,323 (10.5%)	7,896 (10.8%)	107.8%
営業利益	1,507 (2.2%)	1,770 (2.4%)	117.4%

- 耐震・Z E Hなどの高機能商材の普及促進
 - 木造非住宅市場への取り組み強化
 - 工事業者の組織化などによる工事力強化
 - 物流の効率化・働き方改革の推進
- ※ (株)丸滝の寄与 (18/3期2ヶ月→19/3期1年)
 (株)タケモクの寄与 (19/3期9ヶ月)
 合計で売上高13億円 営業利益35百万円

加工事業

単位:百万円、()内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	
		計画	前期比
売上高	13,131	16,613	126.5%
売上総利益	2,300 (17.5%)	2,909 (17.5%)	126.5%
営業利益	632 (4.8%)	762 (4.6%)	120.6%

- 建材事業・加工事業子会社の相互連携
 - プレカット材以外の商材販売
 - 建て方工事・元請工事の受注
 - 物流や工場内作業の効率化
- ※ 愛媛プレカット(株)の寄与 (19/3期1年)
 売上高24億円 営業利益50百万円

ヨドブレ(株)で新工場を建設中（兵庫県加西市）

- **目的**
 - 生産設備の更新
 - 生産能力は約1.5倍に増強
 - 生産性の向上

売上の増加、労働時間の短縮
および外注加工の削減を図る
- **投資内容**
 - 所在地 既存工場に隣接する同社の所有地
 - 設備内容 工場建屋および生産設備
 - 投資額 11億円
- **稼働予定** 2018年10月



生活事業

単位:百万円、()内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	
		計画	前期比
売上高	7,319	6,914	94.5%
売上総利益	983 (13.4%)	968 (14.0%)	98.4%
営業利益	85 (1.2%)	69 (1.0%)	81.5%

- 営業所・取引先毎のきめ細やかな収益向上施策の展開
 - 輸入商材などの商品開発
 - リフォーム・設備関連の工事力強化
- ※ 一部の中国製家電の商流変更による売上減少を見込む

その他

単位:百万円、()内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	
		計画	前期比
売上高	5,288	5,113	96.7%
売上総利益	783 (14.8%)	726 (14.2%)	92.7%
営業利益	198 (3.8%)	133 (2.6%)	67.1%

D S T O K A I (株)

- 建設業における営業力強化および採算重視の受注
 - 安心できる魅力ある介護施設の維持
- 太平商工(株)
- 新規の商材および販売先の開拓
 - 他の事業とのシナジー追求

中期経営計画

施策の進捗状況

(2017年3月期～2019年3月期)

1. 各事業部門における収益力の向上

		進捗状況
建 材 事 業 加 工 事 業	施策（中期経営計画の取り組み）	
	● 省エネ住宅、性能向上リフォーム、高齢者配慮住宅などに関する提案の標準化 ● 企画住宅の開発・販売 ● ECなど、販売チャネルの多様化	● 2016年11月 ➢ 「耐震ビジネスマッチング」を開催 ● 2017年4月 ➢ 工事店会を組成 ● 企画住宅開発に向けてのノウハウの蓄積 ➢ K K N(熊本工務店ネットワーク)の復興モデル住宅との連携（継続実施） ● 2018年2月 ➢ 非住宅の内装工事などを行なう(株)丸滝の子会社化
加 工 事 業	● 事業部内の子会社相互の連携 ● 建材事業と加工事業との連携（以上、建材事業と共通） ● 設計業務の収益化	● 職人の高齢化が続く ➢ 現場でのプレカット材の組立工事の受注（継続実施） ● 建材事業と連携した木造非住宅物件の推進（継続実施） ● 設計業務の売上 年間 1 億円（継続実施） ● 2018年4月 ➢ 一部工場でQ Rコードによる出荷管理システムを導入 ● 2018年5月 ➢ 四国地区で加工能力最大クラスの愛媛プレカット(株)を子会社化

1. 各事業部門における収益力の向上

	施策（中期経営計画の取り組み）	進捗状況
生活事業	● 取引先毎の採算管理の徹底 ● リフォーム事業の強化 ● エネルギー関連・設備関連の工事力強化	● 不採算取引の改善に取り組み、不採算が継続の場合は、取引を縮小または停止（継続実施） ● 建設業許可を取得 2015年11月 管工事

2. M & A や新規営業施策による成長維持

- M&Aの実績

2016年 5月
(株)西日本プレカットセンター

2016年10月
太平商工(株)

2018年 2月
(株)丸滝

2018年 4月
(株)タケモク

2018年 5月
愛媛プレカット(株)

- 建材・加工事業以外の**非住建**（生活・その他）の分野を拡大

（単位:百万円）

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績
生活事業 (A)	6,426	6,820	7,319
その他 (B)	2,513	4,201	5,288
非住建の売上高 (A) + (B)	8,939	11,022	12,607
連結売上高に 占める割合	10.6%	12.1%	13.3%

商 号	(株)丸滝
創 業	1909年（明治42年）
設 立	1956年7月（昭和31年7月）
資 本 金	60百万円
従 業 員 数	36名
本 社	長野県駒ヶ根市北町10番6号
事 業 拠 点	本社 伊那店（長野県伊那市） 松本店（長野県塩尻市）
事 業 内 容	内装工事などの建築工事の請負 建材・住設機器の販売
売 上 高	1,253百万円（2017年6月期）





商 号	(株)タケモク
創 業	1909年（明治42年）
設 立	1953年6月（昭和28年6月）
資 本 金	10百万円
従 業 員 数	11名
本 社	大分県竹田市大字玉来946番地
事 業 拠 点	本社 大分支店（大分市）
事 業 内 容	建材・住設機器の販売、 木製品の販売、建築工事請負
売 上 高	428百万円（2017年12月期）



商 号	愛媛プレカット(株)
設 立	1992年（平成4年）
資 本 金	10百万円
従 業 員 数	53名
本 社	愛媛県松山市西垣生町1740番地5
事 業 拠 点	本社
事 業 内 容	木材の加工・販売
売 上 高	2,747百万円（2017年3月期）



3. グループ会社に対するガバナンス強化

施策（中期経営計画の取り組み）

- グループ会社に対する管理・監査の強化
- 持株会社による与信管理の徹底
- 政策保有株式の見直し

進捗状況

- 2016年6月 持株会社の経営企画部内に、グループ会社の経営分析を行なう経営管理課を新設
- 持株会社の内部監査室、子会社監査役による子会社に対する監査の拡充（継続実施）
- 持株会社の内部統制部による新しい子会社に対する内部統制の整備改善（継続実施）
- 政策保有株式の縮減（17/3期に続き実施予定）

4. 営業部門・管理部門の効率化推進

施策（中期経営計画の取り組み）

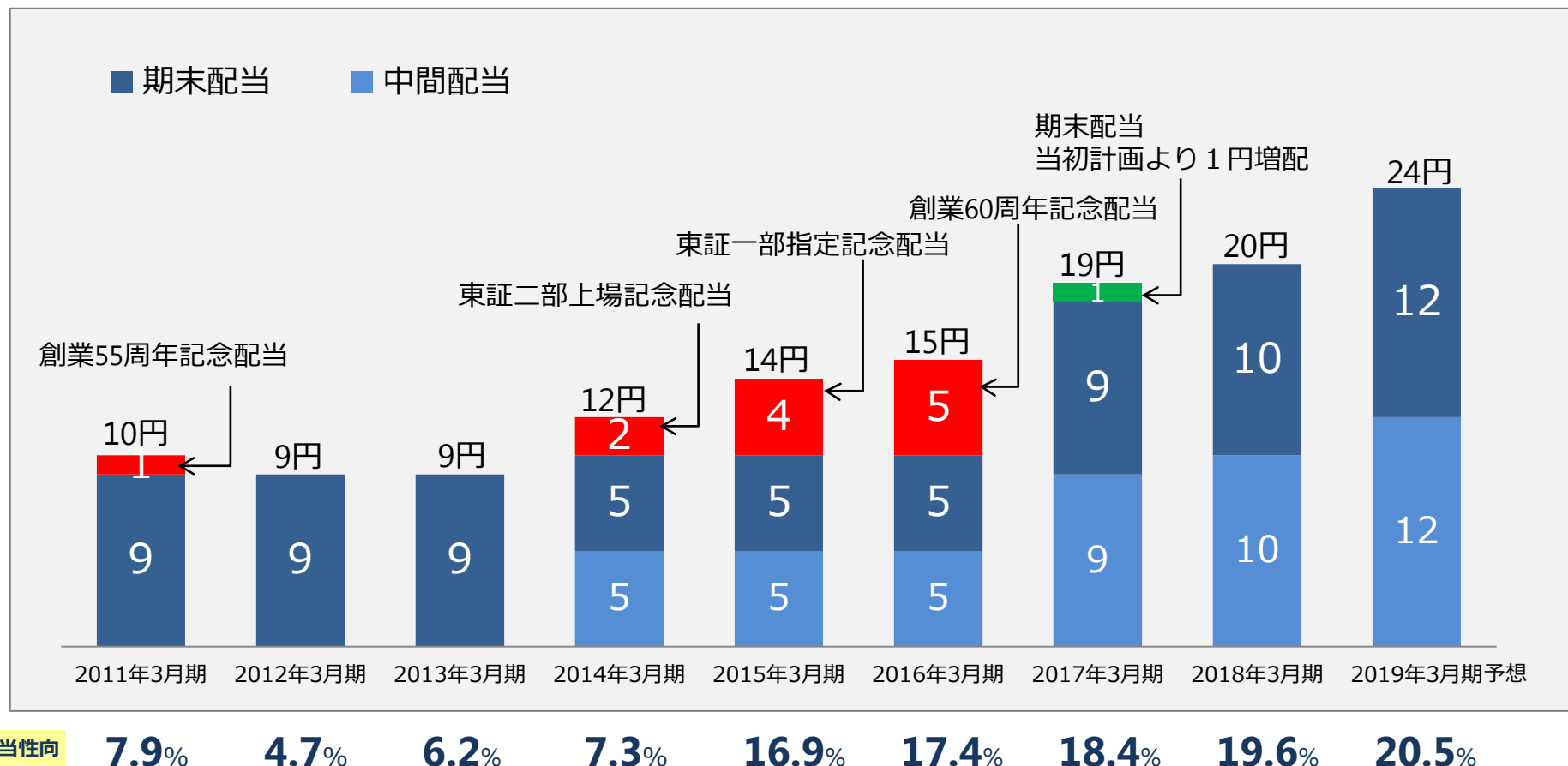
- 物流センターの展開による物流効率化・在庫削減、既有不動産の賃貸
- 不採算営業所の統廃合、子会社の統合
- 基幹システムの更改

進捗状況

- 越智産業(株)における効率化
 - 2017年3月 滋賀事務所を京都営業所に統合
 - 営業所間の取引先移管による物流効率化（継続実施）
- 2017年9月 (株)松井旭川営業所を同本社に統合
- 基幹システムの更改（構築中）
- 物流センターの展開（検討中）

■ 配当方針

安定的な配当の維持に努めることに加えて、連結業績を加味した配当を行なうことを基本方針とし、連結配当性向については、**15%**程度を下限とし、**30%**以上を目指すものとします。





【 連絡先 】 OCHIホールディングス株式会社
【 所在地 】 福岡市中央区那の津三丁目12番20号
【 T E L 】 経営企画部 092-732-8959
財 務 部 092-711-9173

このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提や見通しに基づく予測が含まれております。
実際の業績は、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を
改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

また、本資料のいかなる部分も一切の権利はOCHIホールディングス株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、
いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。